

国道212号(日田市天瀬町出口)

県道森那馬溪線(中津市那馬溪町深那馬)

－ 平成28年 熊本地震－

大分県内の復旧・復興への対応状況

平成28年8月23日

大分県

我接下來就熊本地震受災情況、目前恢復情況進行介紹。

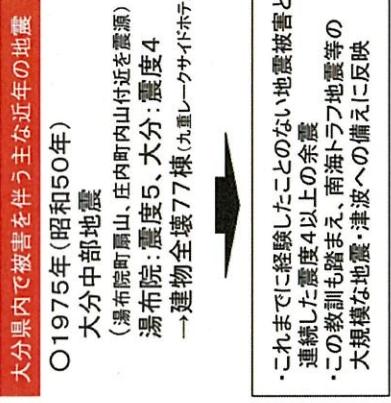
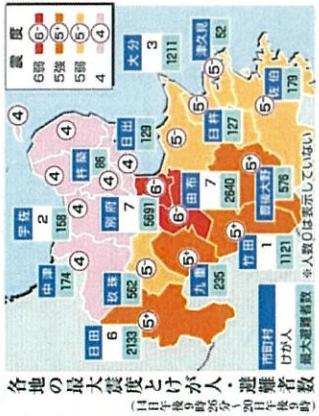
熊本地震の大分県内の復旧復興状況を説明します。

地震の概要(4月14日21時26分～)



大分県

- ・4/14、4/16 熊本県熊本地方
 - 最大震度7
 - ・4/16 大分県内(別府・由布)
 - 最大震度6弱
 - ・熊本・大分県内震度1以上
 - 累計で1939回
- ※(7/31時点:気象庁HPより)



◆4月14日21時26分以降の初期に発生した県内の主要な地震

発生時間	震央地名	マグニチュード	最大震度	大分県内の最大震度
4月14日 21時26分	熊本県 熊本地方	6.5	7	4
4月15日 00時03分	熊本県 熊本地方	6.4	6強	4
4月15日 01時25分	熊本県 熊本地方	7.3	7	6弱
4月16日 01時46分	熊本県 熊本地方	6.0	6弱	4
4月16日 03時35分	熊本県 熊本地方	5.8	6強	5弱
4月16日 07時11分	大分県 中部	5.3	5弱	5弱
4月16日 09時45分	熊本県 熊本地方	5.4	6弱	4
4月18日 20時42分	熊本県 熊本地方	5.8	5強	5強

大分県の対応

4月14日 21時30分	災害対策連絡室設置
23時40分	災害警戒本部へ移行
4月16日 01時25分	災害対策本部へ移行
02時30分	第1回災害対策本部会議
土木建築部における取組	
緊急点検パトロール	
対象範囲	: 震度4以上を観測した市町村等
対象施設	: 道路、河川堤防、港湾、ダム、県営住宅等

本次地震熊本県最大震度7でしたが、大分県でも別府湯布院為6弱。

這次地震是繼40年前的1975年發生震度為5級的地震以來最大的壹次。

地震發生後成立了災害對策本部，以掌握受害狀況。

別府和湯布院位於成為“中央構造線”的斷層帶上，縣內的海岸沿線有發生南海海溝地震的風險，因此國家、縣、市町村在硬件、軟件方面事先聯合採取應對措斦愈顯重要。

今回の大震で熊本県は最大震度7でしたが、大分県でも別府湯布院で6弱でした。

これは1975年から40年ぶりでそのときの震度5より大きいものでした。

地震發生直後から、災害對策本部が立ちあがり、被害状況の把握を行ってきた。

別府や湯布院は中央構造線という断層帶の上にあり、県内の海岸部は南海トラフ地震の心配もあります重要となつてゐる。

道路被災状況(主な被災箇所)

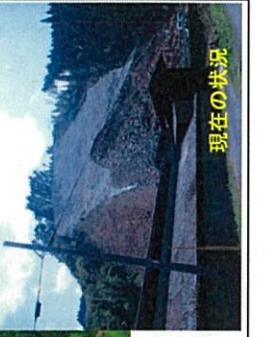
○熊本地震による県内被害状況

・公共土木施設(県、市町村)の被害総額

174件 約49億円

通行規制箇所		
道路種別	箇所数(最大)	箇所数(8/19)
高速道路	2	0
直轄国道	1	0
県管理道	35	2
市町村管理道	97	15

※特殊通行規制を行っている箇所は除く

国道 212号 (日田市天瀬町出口) 	現在の状況 
<p>◆斜面崩壊により全面通行止 →7月15日に片側交互通行</p>	
国道 212号 (日田市大山町西大山) 	
<p>◆上野川が埋没 ◆斜面崩壊により全面通行止 →9月末を目処に片側交互通行 (予定)</p>	
国道 212号 (日田市大山町西大山) 	
<p>◆斜面崩壊により全面通行止 →8/26に片側交互通行</p>	

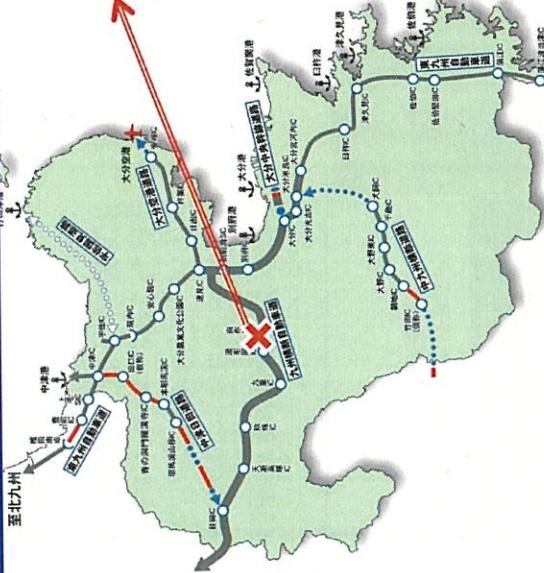
縣與市釧村的道路受損壹共達174處，損失約49億日元
大分縣內在地震發生後，道路禁止通行區域最大達到135處。
照片是縣西部的大分市國道212號。

連接日田市與熊本縣阿蘇的公路上方的巖石從100米高處墜落，通行受阻。
立即展開了道路恢復工程，終於在地震4個月後的本周末恢復了通行。

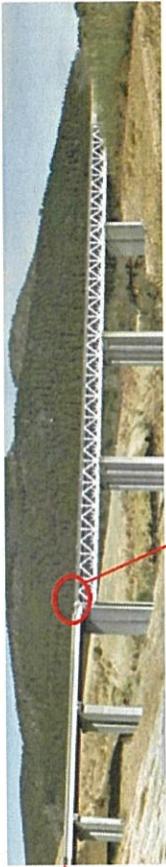
道路の被害は、県と市町村あわせて174件、約49億円でした。
地震発生直後、道路の通行止め箇所は、最大で135箇所でした。

写真は、県西部にある日田市212号です。
日田市と熊本県阿蘇を結ぶ道の上の崖にある岩が高さ100m上から壊れ、通行止めとなっています。
すぐに復旧工事に取りかかり、地震から4ヶ月後の今週末には通行できるようになりました。

大分自動車道(湯布院IC～日出JCT) 並柳橋の損傷



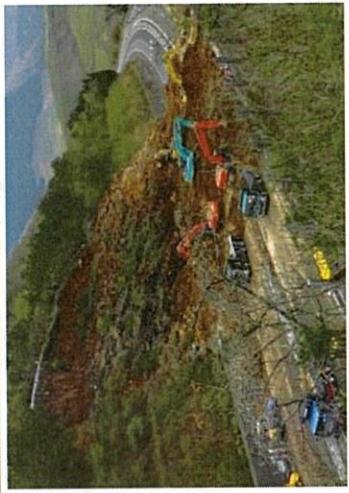
4/14～5/9までの25日間全面通行止



支承等の損傷



現状



由國家和高速公路公司管理的高速公路部分，在湯布院發生橋和山崖毀壞情況，全面禁止通行。
地震對產業和觀光帶來了極大的影響，但是高速公路公司恢復工程速度驚人，僅25天後就恢復通行。
這座橋附近是斷層，離斷層越近震動幅度就越大。
但是由於借鑑了20年前的阪神淡路大地震的經驗，設計公路主線時都要求即使發生地震橋也不能垮，因此相對安全。

国と高速道路会社が管理する高速道路も、湯布院で橋や崖が壊れ、全面通行止めとなつた。
産業や観光に大きな影響を及ぼしたが、高速道路会社の復旧工事のスピードは驚異的で、25日後には通行できるようになった。
ちなみに、この橋の付近には断層が走っていて、断層に近いと揺れが特に大きいようです。
しかし、約20年前の阪神淡路大地震でも幹線道路は大地震でも橋が落ちない設計がされているので、比較的安全です。⁴

河川・土砂災害状況

堤防の亀裂 : 大分川水系宮川（由布市）



がけ崩れ : 別府市



がけ崩れ : 境川（別府市）



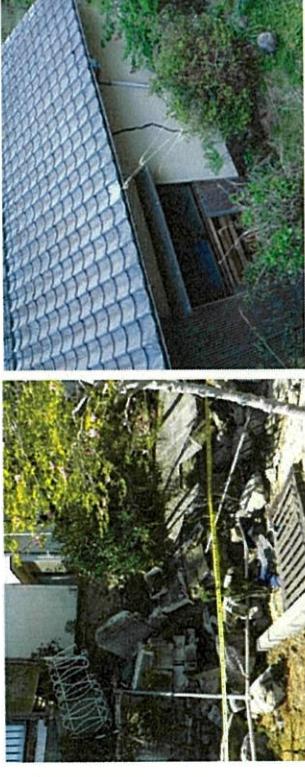
がけ崩れ : 九重町



除了公路受損，河川堤壩也出現裂縫，崩塌等情況，目前災害恢復工程正在進行，資金來源為國家補助金。道路以外にも河川堤防に亀裂や、がけ崩れも発生しており、国の補助金による災害復旧工事が進んでいます。

建築物・宅地の被災状況

別府市の被災状況（北鉄輪地区等）



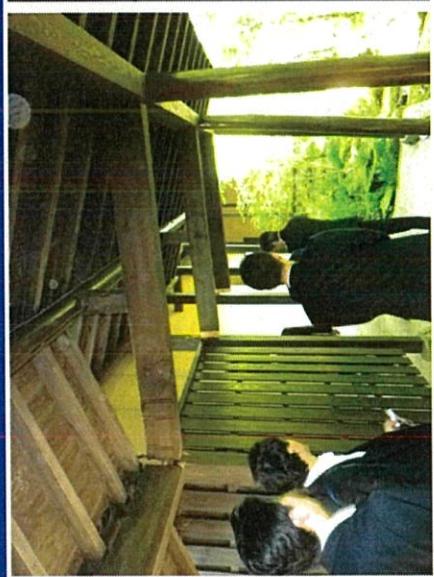
由布市の被災状況（湯布院町川北地区等）



建築物和住宅用地も遭受損失、対別府市和由布市個人修復設置了補助制度。

建物や宅地などにも被害があり、別府市や由布市は個人の施設の復旧に補助する制度をつくりました。

地震によるホテル・旅館の被災状況

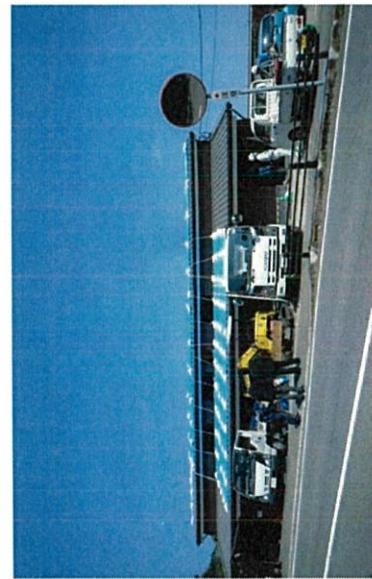


支柱のずれ・ゆがみ (由布市湯布院町)



厨戸天井の落下 (同左)

壁の崩落、転倒 (同左)



瓦の落下 (別府市明礬)



浴槽のひび割れ (同左)

酒店も遭受損失、地震後有部分設施不能正常營業。

ホテルなどにも被害があり、地震直後には営業ができない施設もあった。

九州を訪れる“宿泊者数”の状況



【平成27年の状況（確定値）】

- 九州全体
延べ宿泊者数 … **4,460.9万人泊**
対前年比 … **106.6%**

〔上記の内訳〕

- ・日本人延べ宿泊者数 … 3,957万人泊
対前年比 … 102.0%
- ・外国人延べ宿泊者数 … **503.9万人泊**
対前年比 … **164.4%**

- ・九州観光戦略2016年（H28年）目標
4,566万人泊達成目前
- ・全国のエリア別で見ても
高い伸び率（平均105.8%）



宿泊者数

過去最高



地震前、住宿外國人遊客數量為過去之最。

地震前までは、外国人の宿泊者数が過去最高となっていた。

熊本地震からの復興に向けた観光誘客について

【熊本地震後の宿泊キャンセル】

九州全体の宿泊キャンセルは**70万件**を超え、被害額は推計で**140億円**に上る。

【平成28年4月延べ宿泊者数】

(上段:延べ宿泊者数(人泊)、下段:前年同月比)

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
	1,268,020	238,660	562,740	499,820	389,640	243,680	474,190
+2.4%	▲3.6%	▲14.1%	▲7.5%	▲36.1%	▲5.5%	▲18.3%	

【観光庁「宿泊旅行統計調査」H28.6.30】

観光誘客の取組



「九州ふっこう割!」による誘客
7月～12月の間で**150万人**目標



オンライン旅行社、店舗型旅行会社、コンビニ等で販売。発売直後に**売切れ**が続出。

地震後、大量預約的住宿被取消了。
九州整体损失达到140亿日元。

整個九州當中，大分縣受損最嚴重。
目前，作為復興支援對策，國家對住宿費進行補助，遊客逐漸回歸。

地震後、多くの宿泊がキャンセルとなった。
九州全体では、140億円の被害となつた。
九州のなかでも、大分県が一番影響が大きかつた。
現在、復興支援として、国が宿泊費への補助をしており、徐々に観光客が戻つてきている。

